

報 告 書 抄 録

書 名	宮地遺跡群
副 書 名	城南町中央土地区画整理事業に伴う発掘調査
シリーズ名	城南町文化財調査報告
シリーズ番号	第13集
編 著 者 名	清田 純一
編 集 機 関	城南町教育委員会
発行年月日	2003 (平成15) 年 3 月 27 日

所収遺跡名	所在地	遺跡番号	調査期間	調査面積	調査原因
西福寺遺跡 新御堂遺跡	下益城郡城南町宮地	32・37	(自) 1999.01.11 (至) 2001.04.17	25,000m	区画整理

主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
弥生時代 中期 後期	竪穴住居跡539基 土壙墓252基 木棺墓54基 甕棺墓89基 環濠2本 溝遺構1本	弥生土器・石庖丁・石斧 (挟入・蛤歯)・磨製石 鏃(製品・未製品)・鉄 器(鉄斧・鉄鏃・ヤリガ ンナ)	弥生時代後期において は、調査前のものも併せ て12点の青銅器が出土し、 緑川中流域の拠点集落を 形成する。
古墳時代	溝1本	土師器	古代(9世紀後半)に おいては、土壙内からの 瓦の一括出土、銅製巡方 の出土から公的施設との 関連が想定される。
古代 6世紀後半～7世紀前半 9世紀後半	竪穴住居跡38基 掘立柱建物跡11基 溝遺構21本 土壙(土壙墓)110基 道路2本	土師器・須恵器・瓦・鉄 器(刀子)・銅製巡方・ 馬歯	木下良氏の想定する益 城国府の想定地・時期が 一致しており、注目され る。
鎌倉時代	土壙墓39基 溝遺構16本	青磁・短剣・短刀・鏡・ 土師皿・砥石	